四　新生児特定集中治療室等に準ずる室の後方病室（新生児特定集中治療室等に準ずる室において管理していた者のうち、軽快して管理の程度を緩める状態となつた者若しくは同室における管理が必要とされる状態に移行することが予想されるものの現時点では管理の程度が緩やかな状態である者若しくは生命の危険性が低いか若しくは消失した妊婦若しくはじよく婦を収容する室又は新生児特定集中治療室等に準ずる室から退出した児童、若しくは点滴、酸素投与等の処置を必要とする児童を収容する室。以下同じ。）の有する病床の数　二、二四三、〇〇〇円

五　道府県等が経営する病院であつて小児医療を提供しているものについて、小児医療のための専用の病床の数として総務大臣が調査した数に一、一六七、〇〇〇円を乗じて得た額

六　道府県等が経営する病院であつて感染症病床を有するものについて、感染症病床の許可病床の数として総務大臣が調査した数に四、二五一、〇〇〇円を乗じて得た額

次の算式によつて算定した額とする。

算式

A×0.010×α

算式の符号

A　作物統計調査規則（昭和46年農林省令第40号）第4条に規定する被害調査の結果に基づくその年の1月1日から10月31日までの間に発生した干害、冷害、凍霜害、ひよう害等による当該道府県の農作物被害額（以下「農作物被害額」という。）

α　農作物被害額を最近の世界農業センサスの結果による当該道府県の専業農家数に第1種兼業農家数を加えた数と第2種兼業農家数に0.25を乗じて得た数（整数未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）を合算した数で除して得た額について、次の表の上欄に掲げる区分に応ずる下欄に掲げる率

区分	率
五〇〇、〇〇〇円未満	一・〇〇
五〇〇、〇〇〇円以上九九〇、〇〇〇円未満	一・一五
九九〇、〇〇〇円以上	一・三〇

次の算式によつて算定した額とする。

算式

AのBに対する割合が1.00を超える道府県

C×（2／3）×0.7

十　干害、冷害、凍霜害、ひよう害等による特別の財政需要があること。

十一　連年の災害による財政需要の増加又は財

四　新生児特定集中治療室等に準ずる室の後方病室（新生児特定集中治療室等に準ずる室において管理していた者のうち、軽快して管理の程度を緩める状態となつた者若しくは同室における管理が必要とされる状態に移行することが予想されるものの現時点では管理の程度が緩やかな状態である者若しくは生命の危険性が低いか若しくは消失した妊婦若しくはじよく婦を収容する室又は新生児特定集中治療室等に準ずる室から退出した児童、若しくは点滴、酸素投与等の処置を必要とする児童を収容する室。以下同じ。）の有する病床の数　二、二四三、〇〇〇円

五　道府県等が経営する病院であつて小児医療を提供しているものについて、小児医療のための専用の病床の数として総務大臣が調査した数に一、一六七、〇〇〇円を乗じて得た額

六　道府県等が経営する病院であつて感染症病床を有するものについて、感染症病床の許可病床の数として総務大臣が調査した数に四、二五一、〇〇〇円を乗じて得た額

次の算式によつて算定した額とする。

算式

A×0.010×α

算式の符号

A　作物統計調査規則（昭和46年農林省令第40号）第4条に規定する被害調査の結果に基づくその年の1月1日から10月31日までの間に発生した干害、冷害、凍霜害、ひよう害等による当該道府県の農作物被害額（以下「農作物被害額」という。）

α　農作物被害額を最近の世界農業センサスの結果による当該道府県の専業農家数に第1種兼業農家数を加えた数と第2種兼業農家数に0.25を乗じて得た数（整数未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）を合算した数で除して得た額について、次の表の上欄に掲げる区分に応ずる下欄に掲げる率

区分	率
五〇〇、〇〇〇円未満	一・〇〇
五〇〇、〇〇〇円以上九九〇、〇〇〇円未満	一・一五
九九〇、〇〇〇円以上	一・三〇

次の算式によつて算定した額とする。

算式

AのBに対する割合が1.00を超える道府県

C×（2／3）×0.7

十　干害、冷害、凍霜害、ひよう害等による特別の財政需要があること。

十一　連年の災害による財政需要の増加又は財